

CUCM のための設定 Read only Command Line Interface (CLI)

目次

[概要 :](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[それが 11.5 にどのようにはたらくか](#)

[設定](#)

[例 :](#)

[特権 0 のコマンド](#)

はじめに

この資料は Cisco Unified Communications Manager (CUCM) バージョン 11.5 で導入される新しい Read only CLI 機能を説明していたものです。

、リーバイズ トマスによって編集される Cisco TAC エンジニア Manjunath Junnur によって貢献される。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアのバージョンに基づくものです。

- Cisco Unified Communications Manager バージョン 11.5

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのような作業についても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

背景説明

顧客 環境は限られた CLI コマンド アクセスのユーザ向けに能力をたいていの場合必要とします。

このバージョンで、それは CLI のための read only 権限 機能含まれていました。

CUCM および IM&P 管理者はユーザー アカウントを提供できます読み取り専用特権は Command Line Interface (CLI) でアクセスします、従って既存の設定情報は目に見える可変性でありではない。

注: 書き込み操作のためのコマンドは読み取り専用特権 アカウント ユーザ向けに否定されます。

それが 11.5 にどのようなにはたらくか

- 現在現在の CLI アーキテクチャで一定アカウント name コマンドは、2 タイプのユーザを作成します。
- 1.レベル 0 特権 (読み取り専用/通常のユーザ)

- 2.レベル 1 特権 (特権ユーザ)

読み取り専用ユーザ: 読み取り専用ユーザは、ように read only コマンドだけアクセスできます (、ステータス示して下さい); 彼らはセットに、delete コマンド アクセスするかまたは設定を有効または無効にすることができません。どのコマンドでも読み取り専用コマンドになる場合、CLI 設定 XML ファイル「priv」の、値は 0 であり、それは読み取り専用ユーザによってアクセスすることができます。

特権ユーザ: 設計によって、特権ユーザは read only コマンドおよび write コマンドにまたアクセスできます。命じる場合、コンフィギュレーション ファイルに「priv」値 1 が、それらのコマンドある cli でアクセスは特権ユーザだけによって行う場合もあります。特権ユーザは priv 値 0 および 1 のコマンドにアクセスできます

管理者ユーザ: 管理者ユーザはすべてのコマンドのための、管理者ユーザのレベルです 4.オアクセスできます。cli コンフィギュレーション ファイルでは「priv」値があれば 4 管理者ユーザはそれらのコマンドにアクセスします。管理者ユーザは priv 値 4,1,0 水平なコマンドに同様にアクセスできます

設定

Read only ユーザアカウント、ログイン CLI を作成し、コマンドを使用するため。

admin: アカウント名 <input をあらゆる name> 設定して下さい

特権レベルは次のとおりです:

- 0
高度-レベル 1

read only アクセス ユーザ向けに 0 を選択して下さい。

パスワードを入力して下さい: *****
確認するために再入力して下さい: *****

同じのための Screenshot:

```
admin:set account name ciscotac

Privilege Levels are:
  Ordinary - Level 0
  Advanced - Level 1

Please enter the privilege level :0 ←
Please enter the password :*****
re-enter to confirm :*****
Account successfully created
```

例:

例 1: Read only ユーザーの資格情報とのログインは DB 複製停止を試み、

```
admin:utils dbreplication stop all
Executed command unsuccessfully ←
No valid command entered
admin: █
```

例 2 : Usi SQL クエリ領域を削除するため。

```
[admin:run sql delete from region where region ="91b78ae6-6e6b-f9fd-cd1d-380a1b188034"
No DELETE permission for region. ←
```

例 3 : Read only ユーザは、表示コマンドを使用できます。

```
[admin:show version active ←
Active Master Version: 11.5.0.99838-4
Active Version Installed Software Options:
No Installed Software Options Found.
```

例 4 : ログインは read only ユーザおよびあなたとのグラフィカル ユーザ インターフェイス (GUI) Operating System (OS) Admin あらゆるタブに書き込み アクセスがないことを観察できます。 認証を開く場合、詳細がしかしそこにです削除するか、または再生するオプション含まれていなくても。

Certificate Details for publisher, CallManager

Status



Status: Ready

Certificate Settings

File Name	CallManager.pem
Certificate Purpose	CallManager
Certificate Type	certs
Certificate Group	product-cm
Description(friendly name)	Self-signed certificate generated by system

Certificate File Data

```
[
Version: V3
Serial Number: 45BA6326E241B27DCA57D66E80F61F33
SignatureAlgorithm: SHA256withRSA (1.2.840.113549.1.1.11)
Issuer Name: L=Bangalore, ST=Karnataka, CN=publisher, OU=Cisco, O=Cisco,
C=IN
Validity From: Fri May 27 13:00:14 IST 2016
To: Wed May 26 13:00:13 IST 2021
Subject Name: L=Bangalore, ST=Karnataka, CN=publisher, OU=Cisco,
O=Cisco, C=IN
Key: RSA (1.2.840.113549.1.1.1)
Key value:
3082010a0282010100d634eb2a09e5ac0e91015ece7696040fa5f20baae7c4010cf0
863303e46b8d6fd73a8b5481d4cefd89ade3f5ede53dae3c89aaa7df080263d4de52a
f2dfcfec961946239d00bb7f4d13f76a777b93e57cdf5486ea2ad205b55fb0be6604a2
```

特権 0 のコマンド

特権 0 のコマンドの例

- show status
- CPU を使用して最も show process
- utils dbreplication runtimestate
- ネットワーク eth0 を示して下さい
- utils Service リスト